

06 SEMA SHOW 2009 AREA P033 ~ P035	05 VAB SPORT AREA P030 ~ P031	04 Very VALIANT AREA P028 ~ P029	03 KEN STYLE NEXT AREA P025 ~ P027	02 BRANEW AREA P022 ~ P025	01 REGINA AREA P018 ~ P021
--	--	---	--	-------------------------------------	-------------------------------------

30PRIUS FACTORY OUT!
HOT NEW STYLE & CONCEPT

人気ブランドの最新スタイル・コレクション

LTS AVANTGARD

10

TOMMY KAIRA PRIUS RR

【問い合わせ】 TOMMY KAIRA JAPAN TEL:0565-52-8555 <http://www.tommykaira.com>

SPEC & PRICE

フロントスポイラー (Wet Carbon)	76,650 円
(FRP)	60,900 円 / 塗装済み 73,500 円
フロントグリル (Wet Carbon)	38,850 円
(FRP)	29,400 円 / 塗装済み 34,650 円
フロントダクトカバー (Wet Carbon)	31,500 円
アイラインガーニッシュ	15,750 円 / 塗装済み 21,000 円
サイドステップ	
(Wet Carbon)	87,150 円 / 塗装済み 101,850 円
(FRP)	71,400 円 / 塗装済み 86,100 円
リアハーフスポイラー	
(Wet Carbon)	84,000 円 / 塗装済み 96,000 円
(FRP)	68,250 円 / 塗装済み 80,850 円
ルーフスポイラー (FRP)	39,900 円 / 塗装済み 48,300 円

※アイラインガーニッシュはLEDヘッドのみ適合。
塗装済みパーツは全色対応。

日本の名門カロツツェリアが
そのディテールに注入した
“レーシングリアリティ”



リムエンドまでシャープに伸びた6本ツインスポークが美しさと切れ味を演出するジュリアス。ブラックポリッシュのレーシーな色彩がスパルタンなカーボンエアロにマッチ。

トミーカイラIIストリートレーサーというイメージは、対象がハイブリッドカーとなっても不変である。それは「レーシングスタイル・リアリティ」という意味を込めた「RR」というネームを見てもわかることだ。エアロパーツにはここで紹介しているウェットカーボン素材を使用したカーボンスタイルと、同デザインでFRP製のドレスアップスタイルを用意。トミーカイラの昔ながらのこだわりでフィット感も抜群に高いものだ。加えてマルチセラゴを匂わせるフォグランプカバーや、ブラックアウトで大口径を演出したフロントグリルにもウェットカーボンを用い、アクティブな造形を完結させている。

とはいえ、そこはプリウス。製作コンセプトはエコスポーツなのである。たとえエコカーでもレーシーさは演出できるし、なにより楽しく乗ってもらいたいというのが真の狙いなのだ。過激さを演出した4本出しマフラー(2本出しも用意)は、エコモードからパワーモードに移る時の段付き感を改善し、プリウスらしさを失わない程度のレーシーサウンドも加味している。なによりデータ上では燃費もさらに向上しているのだ。

アシ廻りに奢られるのはファンクションベースの6段調整式フルタップ

14 L'ange AREA P051	13 BOTTOM LINE AREA P050	12 BALSARINI/GS-I AREA P048 ~ P049	11 LTS AVANTGARD AREA P046 ~ P047	10 TOMMY KAIRA PRIUS RR AREA P044 ~ P045	09 GIALLA SPORTIVO AREA P042 ~ P043	08 US TOYOTA/ FIVE-AXIS AREA P038 ~ P039	07 West Coast Customs AREA P036 ~ P037
------------------------------	-----------------------------------	---	---	--	---	--	--

CUSTOM POINT

- BODYKIT
- WHEEL&TIRE
- SUSPENTION
- H.I.D / LED
- INTERIOR
- CUSTOM AUDIO



Photo / Kazuhisa MASUDA (益田和久)
Text / Kazuhiro UESUGI (上杉和広)



リアハーフスポイラーは整流効果も狙ったアンダーカウル一体成型だ。オールステン左右出しマフラーはスライド機構も付く。126,000円。



猛禽類を思わせる精悍な表情を作り出すアイラインは未塗装が15,750円、塗装済21,000円。フロントとリアのブルーLEDエンブレムはスモール点灯時に連動して光を放つ。年内発売予定。



「RR」の赤バッジが力強いアクセント。樹脂製だが七宝焼きタイプにもやかに製作中。ゴシック書体を使ったニューエンブレムも目新しい。5,040円。



車高調(発売未定)。テストはストリート指向で、現在のバネレートはフロントが6.0kg、リア4.0kgの設定だ。来年には完全限定のコンプリート・プリウスを発売する計画もあるトミーカイラ。プレミアモノのシリアルプレートが入ったRRも早く拝みたいものだ。



両面テープで手軽に取り付けられ、ドレスアップ効果も高いルーフスポイラー。価格は塗装済みが48,300円、未塗装が39,900円。

後部にミニダクトが設けられたサイドステップは、タイヤハウスの内に見える姿にまでこだわった逸品。ボルト類は純正流用でOKだ。



黒ベースのフロアマットはフチが赤・青・黒の3色を用意。29,400円。リアル製カーボンステアリングはカーボン部が全6色ある。49,800円。

